

平成 29 年度第 3 回太良町地域公共交通会議及び太良町地域公共交通活性化協議会
会議録

会議の名称	平成 29 年度第 3 回太良町地域公共交通会議及び太良町地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成 30 年 1 月 31 日（火）14：00～
開催場所	太良町役場 3 階 大会議室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）太良町地域公共交通網形成計画（案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>4 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">九州佐賀国際空港リムジンタクシーの運行について</p> <p>5 閉会</p>
出席委員	地域公共交通会議委員 20 名中 18 名参加：うち委任状代理 3 名 地域公共交通活性化協議会 19 名中 17 名：うち委任状代理 2 名
事務局	太良町役場 企画商工課 商工観光係
<p>1. 開会</p> <p>2. 町長のあいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p style="padding-left: 40px;">議事録署名人を指名。</p> <p style="padding-left: 40px;">（1）太良町地域公共交通網形成計画策定（案）について</p> <p style="padding-left: 40px;">・事務局</p> <p style="padding-left: 80px;">（1）太良町地域公共交通網形成計画（案）について説明</p> <p style="padding-left: 40px;">質疑)</p> <p style="padding-left: 40px;">・委員</p> <p style="padding-left: 80px;">祐徳バスの廃止路線の代わりに今後、太良町民の足をどうするのか、という話しだと思ふ。</p> <p style="padding-left: 80px;">町長も話された通り、太良町の高齢化は進んでいく。利用者はあるのか。計画を作っても、利用者がいなかったらどうにもならない。計画の中では、今後しおさ</p>	

い館の利用者は増えるということになっているが、減っていくのではないかと考えている。今のしおさい館利用者は運転免許をあまり持っていない年代。

計画のなかで、主な利用者を「高齢者、観光客、学生」とあげられている。前回、学生を入れた理由は、太良高校のような学校が、新しく他の地域にできると、太良高校を志望する人が減ってしまうため、通学の利便性を上げる。という話だったと思うが、学校は教育内容や方針で決めるものであって交通がよいからという理由で決めるものではないと思う。

観光客や学生を計画に、無理して入れることはないと思う。高齢者と町民を主体とした計画が、太良町には合っていると思う。

バス停があれば、利用するのか。中山線を例にとってみると、バスは走っているのに利用されていない。しかし高齢者は住んでいる。なければ欲しがるが、作れば利用はしないのが現状。

消極的な意見だが、多額の費用をかけて作るべきものなのだろうか。もっと簡単にできないのか。

社協の事務局長にお尋ねしたいが、しおさい館利用者は本当に増えていくのか。

・事務局

町の財政負担が増えていく中で、負担する以上は利用してもらえる公共交通を作らなければならないと考え、国の補助金を活用し調査を行った。

机上で簡単に済ますことも出来たが、平成 28 年度にはアンケート調査を行い、29 年度の前半には、各団体と意見交換会を行い、運行ルート等を検討した。

太良町では、これまでにコミュニティバスを導入していなかったため、まずは定時定路線を基本とした運行を考えた。

小型車を導入し、細かな路線まで入って行ければ、この利用者数になるのではないかという推計である。

・委員（社協事務局長）

現状からいうと、乖離している数字だと思う。

しかし便数が増え、よりきめ細かく需要に応じた路線が組めれば、決して難しい数字ではないと思う。しおさい館のサービス向上と合わせて考えていかなければならない。将来的には、この数字に近づくことは出来ると思う。

・委員

計画の中に、太良町の人口推移が書かれているが、年間 150 人が亡くなっている。亡くなる方がどんどん増えれば、利用者はいなくなる。

今の 60 代、70 代前半の人はほとんど、運転免許を持っている。それより上の 80

代、90代の人が免許を持っていない人が多かったため、バスが必要だったと考える。

太良町の高齢者には、小型車両によるデマンド型、ドア to ドアでの運行が望まれているのではないかと。バスの1日の利用者数は多くない。予約制がよいと思う。今日のタクシーの呼び出しは9回しかない。これでタクシーの台数を増やしてくれと言われても増やせない。公共交通の利用者は、バスとタクシーどちらも利用されてるように感じる。行きはバスに乗り、帰りは買い物した荷物があるためタクシーを使う、など。空（カラ）バスが走らないでよいようにできないものか。旅館は、宿泊の客を駅まで迎えに行っているが、これは旅館のサービスとして必要なこと。客に「コミバスを使って旅館まで来て下さい。」とは言えない。観光客も計画からは外して考えるべきだと思う。

・議長

ある地区の高齢者から、バス停のある国道までは歩いて行けない。「集落の中までバスが入ってきてくれたら利用したい。」という意見も頂いているため、車両の小型化という提案は考えられる。

太良町の、75歳以上の独居老人は200人程度。国や県では高齢者に運転免許返納を呼びかけているが、「公共交通が充実すれば免許返納を考える。」という人もいると思う。

・委員

太良町に限らず、全国の過疎地は自家用車利用率が高い。外出の手段の8割が自家用車という町もある。さらに詳しく調べてみると、自家用車を自由に使えない人は3割程度。（免許がない、車がないなど。）その3割の人たちは、バスや電車を利用せずに、知り合いの自家用車に乗せてもらわれているケースが多い。

送迎してもらっている人たちの交通そのものが潜在化してしまう可能性がある。「遊びに行きたいので送迎してほしい。」とはなかなか言い出せない。

そこに公共交通を絡めると、病院などどうしても必要なこと以外の交通の利用も増える可能性がある。うまく設計すると、75歳以上の独居老人200人の外出機会を増やすことが出来るかもしれない。帰りはタクシーを利用されるかもしれない。全体のφ（パイ）が大きくなる。この計画は、そういう社会を目指すことが大前提にある。

計画には「生活に必要な移動手段が十分に確保されていない。」と書かれているが「生活に必要な移動」を分解して考えなければならない。

太良町は、サービスはたくさんあるのだが、うまく繋がっていない。結節点を利用して繋げていくのが今回の計画であると思う。

・委員

地域性というものがある。太良町の街の近くでは、コミバスの利用もあるのかもしれない。しかし、山間部では自家用車が手放せない。

・事務局

観光客の考え方についてお答えする。人口が減少していく中で、太良町の人口だけでは、路線バスを維持することは難しい。旅館組合との話で、「肥前大浦駅まで電車が来ているが、その先の竹崎に向かう路線がないため、自分たちで送迎をしている。」という現状を聞いている。太良町の人口は減るが、観光の町として、観光に来て頂いた人たちに公共交通を利用してもらい維持していくことを目指していこうと考えたため計画にも盛り込んだ。

計画には、交通空白地の解消でも、「タクシー利活用方法の検討」という施策をあげている。計画は5年間で実行していくのだが、実現可能な事は早く実行していければと考えている。この5年間で協議しながらよりよい公共交通のあり方を目指していくつもりである。

・委員

バスのサービスが向上し、タクシー利用者がバスに移行してしまうと、タクシー事業者は撤退するしかない。太良町からタクシーがなくなる。

過去に一ヶ月ほどタクシー事業を休んだことがあったが、救急車の呼び出しが増えた。地元事業者で継続できるようなデマンド運行ができないか。旅館組合の会長から、「宿泊客の送迎は旅館の仕事」という話を聞いている。

・議長

太良町は平坦地がなく、独特の地形。

山間部はデマンド型タクシーやタクシー券の配布などと合わせて考えていくべきではあると思う。

・委員

佐賀県としては、自家用車利用が多いので、公共交通を利用し、もっと歩くようなまちづくりをしたいと考えている。駐車場ばかりのまちでは、おもしろみがない。

公共交通機関をうまく組み合わせて、快適な生活になるように、今回の網形成計画は策定してもらっていると思う。

- ・委員

将来目標値が達成できなかった場合には、コミバスも廃止する可能性もあることを住民にしっかりと話しをしなければならない。

- ・議長

計画策定だけでなく、町をあげて公共交通を利用してもらうようにしていきたい。では、今回頂いた内容を事務局で検討してください。

(2) 太良町公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

- ・事務局

(2) 太良町公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について説明。

・採決にて協議事項について承認を得る。

4. その他

九州佐賀国際空港リムジンタクシーの運行について（佐賀県空港課より）

- ・佐賀県空港課

九州佐賀国際空港リムジンタクシーの運行について説明。

質疑)

- ・委員

台湾便はいつ頃から運航予定か。

- ・佐賀県空港課

年内にはと考えているが、具体的なスケジュールは決まっていない。

- ・委員

太良高校が台湾と交流を持っているため、将来的に太良町も台湾と佐賀空港を利用して交流ができればと思う。

- ・議長

乗降場所を球場前ではなく、役場に出来なかったのか。

- ・佐賀県空港課

役場の駐車場は夜間施錠をされるので、利便性より球場前になった。

- ・議長

佐賀空港の駐車場無料は続くのか。

- ・佐賀県空港課

無料を続ける予定。

その他

- ・事務局

本日頂いた意見を検討し、後日委員に網形成計画（案）書面にて送付する。
次回の協議会の日程を説明。

5. 閉会